

キリアイ **Broad-billed Sandpiper**

名栗溪谷のブッポウソウこと“**Broad-billed Roller** クン”は、大勢のバードウォッチャーを十二分に楽しませて無事に子育てを完了。今頃はどこかでローリングをやっているのかな？

さて、英名で同じくちばしが**Broad** (広い、大きい) であるという特徴をとらえたものに、キリアイが“**Broad-billed Sandpiper**”すなわち“**広くちばしのシギ**”と命名されています。キリアイを漢字で“**錐合**”とあてていますが、意味がまったく分かりません。キリアイはやはり基部よりかなり太めのくちばしをしており、それがやや下向きに下がっている点が特徴になっています。

この珍鳥に類するキリアイこと“**Broad-billed Sandpiper**”が今、谷津干潟にきているとのこと。英名で特徴としてとらえている **Broad-billed** でズバリ識別できるかどうか、挑戦してみませんか？

ちなみに、香港の図鑑で調べると、ブッポウソウは三寶鳥、キリアイはまさに英名と全く同じの闊嘴鳥、すなわち広嘴鳥で、その発想は英名の場合と同じです。また、三寶鳥は和名の仏法僧と完全に一致しているから、面白いと思いませんか。

くちばしにこだわって、次回はどんな特徴のくちばしのおでましか、お楽しみに！

大宮のハクトウワシ

『しらこぼと』No. 101、1992年10月号より